

石井睦美、書き下ろし児童文学書き最新刊

卒業までのカウントダウンが迫るなか、ふたりの友情のゆくえは…

『ふたりのあした』

◇ 転校生・卒業・そしてこれからの物語 ◇

児童文学作家としてデビューし、最近は絵本の美しいテキストを多く手がけている石井睦美さんが、久しぶりに児童文学作品を書き下ろしました。小学校6年生のふたりの出会いを、等身大の姿で描いた作品です。転校生との出会い、卒業までのカウントダウンのなかで育っていく友情を描いた本作に、ぜひご注目ください。

～内容～

6年3学期。もう〈ほんとうの友だち〉はできないまま小学校卒業かな？——そう思っていた朋美の前に転校してきた結花。孤高で声をかけにくい雰囲気結花には秘密がありました……。卒業までのカウントダウンが進むなかで、ふたりの友情はごくごく育っていきます。6年生のこころの揺れをまっすぐ描いた作品です。

『たのしい川べ』（ケネス・グレーアム作）など児童文学の名作も登場します。

石井睦美（いしい・むつみ）

神奈川県生まれ。青土社にて「ユリイカ」の編集者を務めた後、「五月のはじめ、日曜日の朝」で毎日新聞小さな童話大賞、新美南吉児童文学賞受賞。『皿と紙ひこうき』で日本児童文学者協会賞、『わたしちゃん』でひろすけ童話賞など多く受賞。絵本の作品に『しろうさぎとりんごの木』『100年たったら』『ちいさな魔女とくろい森』『王さまのお菓子』『すみれのさとうづけ』他。



装画：牧角春那

装幀：池田進吾

対象：小学校高学年から

B6判上製 158ページ

定価 1,650円（税込）

ISBN978-4-652-20793-2

本書についてのお問い合わせ先 理論社編集部 岸井美恵子

101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-5

tel.03-6264-8891 fax.03-6264-8893 メール kishii@rironsha.co.jp